

F Mくしろ「市役所からこんにちは」資料（平成31年2月放送分）

放送日 平成31年2月25日（月曜日）午前10時5分～10時20分

（話題1）アイスホッケー「アジアリーグ 2018-2019」プレーオフセミファイナル（準決勝）、日本製紙クレインズについて

【質問：エフエムくしろ パーソナリティー】

今日は、蝦名市長にお越しいただいてお話しいただきます。

それでは、市長、どのようなお話でしょうか？

【回答：市長】

まずは、日本製紙クレインズのお話しです。

一昨日の土曜日と、昨日、日曜日に日本製紙アイスアリーナでアジアリーグのプレーオフセミファイナル（準決勝）が行われ、2連勝し、大変盛り上がりました。

28日からの敵地韓国でも、ぜひ勝利し、ファイナル（決勝）では再び釧路で勇姿を見せてもらえるものと信じています。

市民の皆さん一丸となって、地元釧路から熱い声援を送りましょう。

今季限りで廃部となる、この日本製紙クレインズは、前身の十條製紙時代から、約70年もの歴史を持ち、日本代表メンバーも数多く輩出してきたところです。

日本製紙クレインズは、地域の宝として、氷都くしろのアイスホッケーを通じたまちづくりの先頭となり、学校訪問や交通安全運動など、いろいろな行事にも参加いただいております。これまでの様々な活動に感謝しております。

（話題2）平成31年度の予算案について

【質問：エフエムくしろ パーソナリティー】

続きまして、皆さんにお知らせしたいことはございますか？

【回答：市長】

釧路市の平成31年度の予算案についてです。

新年度の予算案につきましては、去る2月15日に記者発表を行ったところであり、本日は予算案の重点的なポイントについて、ご紹介いたします。

平成31年度予算編成に関しましては、健全で安定した財政運営を確保していくため、「歳入に見合った歳出」を実現させること、そして、限られた財源を市税などの歳入を増やす取り組みに集中的に「投資」することを重視した予算編成となったところです。

今年度からスタートしました、釧路市まちづくり基本構想では、重点戦略として「まちの活力を高める経済活性」「地域経済を担う人材育成」「経済活動を支える都市機能向上」を位置づけております。

これら重点戦略を中心とし、「域内連関」の考え方を念頭に置き、限られた財源を目指すべきまちづくりの実現に向けた取り組みに重点的に配分できるよう努めたところでございます。

この「域内連関」という考え方は、地域内の様々な主体がテーマを共有し、それぞれの強みや地域資源を活かしながら、地域課題の解決等に向けて行動するという考え方です。

たとえば、家庭と町内会が連携して防災訓練を行う。学校では、町内会などの協力のもと、自然災害に関する体験的な学習を進める。市では備蓄用食料の確保や消防力の強化、災害時に社会・経済機能が守られるよう、道路などの強靱化を進める。

このように様々な主体が「防災」というテーマのもとで様々な事業を行い、それぞれが連携することで、つながりあう、つまり「連関する」ことが、より一層災害に強い地域を形成する。このような一連の取り組みが「域内連関」の考えによるものであります。

さて、それぞれの重点戦略に基づく予算につきましては、「まちの活力を高める経済活性化」としまして、昨年8月にオープンしました、釧路市ビジネスサポートセンター「k-Biz」の体制強化を図ります。

「k-Biz」はオープン以来、多くの地元企業者等からの相談に対し、企業の強みを活かした具体的な解決策を提案するなど、伴走型支援を行ってきたところです。

平成31年度は、その相談体制をさらに強化し、新たにプロジェクトマネージャー、ITアドバイザーなどを配置することとしております。これにより、さらに力強い経済基盤を構築し、雇用の拡大につながるものと期待しております。

また、観光立国ショーケースの最終年に向けて、釧路、阿寒、音別、それぞれの地域特性を生かした、観光資源の磨き上げを行い、訪日外国人旅行者の誘客に向けた受け入れ態勢の整備を進めてまいります。

「地域経済を担う人材育成」としましては、女性求職者の就労支援や介護人材の確保、

U I J ターン事業の拡充などにより、地域経済を支える人材確保に努めてまいります。

未来を担う子どもたちの育成では、学力の向上に向けた取り組みを継続するとともに、キャリア教育の充実などを通して、地元に着や誇りを持つ人材を育ててまいります。また、外国人英語指導助手の増員により、豊かな国際感覚を育成し、語学力、コミュニケーション能力の高い人材の育成に努めます。

「経済活動を支える都市機能向上」としましては、北海道横断自動車道釧路西インターチェンジまでの早期開通に向けた整備促進、島防波堤等の整備による港湾機能の充実、たんちよう釧路空港の機能充実や新規就航した定期路線を定着化させる取り組みの強化など、陸海空の人的・物的拠点としての充実に努めてまいります。

その他、来年度の新たな取り組みとして、乳幼児等医療事業では、4月から医療費の無料化の対象を現在の3歳未満から小学校就学前までに拡大いたします。

また、市立釧路総合病院との連携により、産後の母親の心身のケアや育児サポート等の支援を行う産後ケア事業や子育て支援拠点センターにおける利用者支援事業を新たに実施するなど、安心して子供を産み育てられる環境整備を進めます。

そして、高齢者の外出と社会参加を促し、生きがいつくりと健康づくりを促進するため、70歳以上の方すべてを対象にした高齢者外出促進バス事業を新たに実施します。

この事業は、500円の基本料で乗車証の交付を受けていただくと、一部区間を除き、原則1回あたり100円での状況が可能となるものです。高齢者向け定期券等の利用を選択される場合は、1カ月につき1,000円の助成を行います。

さらに2020年の東京オリンピック・パラリンピック大会に向け、ホストタウンとして、ベトナムからの事前合宿の受け入れや市民との交流事業を実施いたします。

パラリンピアンを間近で見ることができる貴重な機会ですので、たくさんの方に交流事業に参加いただきたいと思います。

以上、平成31年度予算の一部につきましてご紹介いたしました。

より詳しく予算のポイントをまとめた資料は、市のホームページに掲載しておりますので、是非ともご覧ください。

今後のイベントについて

【質問：エフエムくしろ パーソナリティー】

今後、どのようなイベントが予定されていますか？

(阿寒湖温泉で今年オープンする、2つの体験型コンテンツについて) イベント①

【回答：市長】

阿寒湖温泉で今年オープンする、2つの体験型コンテンツについてご紹介します。

まずは、阿寒湖アイヌシアター「イコロ」の話題からです。

アイヌ古式舞踊を上演する阿寒湖アイヌシアター「イコロ」では、3月19日（火曜日）より、新しい演目「阿寒ユーカラ『ロストカムイ』」の上演を開始します。

この演目は、アイヌの教えや伝説をもとに、「アイヌとオオカミの共生」等をテーマにした、古式舞踊に現代舞踊とデジタルアートを融合させた新演目となります。

私も観に行く予定で、オオカミの息遣いが感じられるなど、臨場感が豊かな舞台で、アイヌ文化をモチーフとしたストーリーが楽しめる演目になると聞いており、大変楽しみにしております。

また、これまで上演されていた「古式舞踊」と、「イオマンテの火まつり」も、伝統的な舞踊とデジタルアートの融合により、リニューアルされた演目となります。

なお、市民の皆さんへのお披露目として、3月16日（土曜日）・17日（日曜日）の14時と16時の1日2回、無料で上演される予定ですので、ぜひご来場ください。

また、少し先にはなりますが、7月初めには、「カムイルミナ」がオープンする予定です。この「カムイルミナ」は、阿寒湖の夜の森を舞台に、アイヌ神話をもとにした物語を体験するデジタルアートコンテンツで、来場者が自分で魔法の杖をつかって物語の中を進むといった、まるで自分が実際にその世界にいるような臨場感あふれる物語の体験をお楽しみいただけるものとなるそうです。

モーメント ファクトリー

制作を手掛けるMOMENT FACTORY社は、シルク・ドゥ・ソレイユやマドンナといった海外一流アーティストのライブ演出などを手掛けている、世界屈指のデジタルアート集団です。

皆さんもぜひ、阿寒湖温泉にあらためて足を運ばれ、アイヌ民族の文化と自然との共生の大切さを体感する、これら2つの体験型コンテンツをお楽しみいただきたいと思います。

【問合せ先】

イコロの件 阿寒アイヌ工芸協同組合 Tel：0154-67-2727

カムイルミナの件

阿寒アドベンチャーツーリズム株式会社Tel：0154-67-3200

【質問：エフエムくしろ パーソナリティー】

続きまして、どのようなイベントが予定されていますか？

(第13回 全日本少年アイスホッケー大会（中学生・男子の部） イベント②)

【回答：市長】

来月の3月23日（土曜日）から27日（水曜日）まで、第13回全日本少年アイスホッケー大会（中学生・男子の部）が釧路市で開催されます。

大会には、地元釧路の2チームを含め、都道府県単位で選抜された23チームの選手・チーム関係者、総勢約500名の参加が予定されています。

2月3日まで開催された「イランカラプテ くしろさっぽろ国体」のアイスホッケー競技では、地元の選手が活躍し、成年、少年ともに優勝するなど、大いに盛り上がりました。

また、今年の12月から来年1月にかけて、釧路市において6回目となる日本学生氷上競技選手権大会（インカレ）が開催されることとなっております。

このような中、当大会を開催できますことは、非常に喜ばしく、全国から釧路を訪れる選手や関係者をあたたかく迎え、惜しみない声援を送りたいと思います。

会場は、日本製紙アイスアリーナ、春採アイスアリーナ、柳町アイスホッケー場の3カ所で、観戦は無料ですので、ぜひ、会場で声援を送っていただきたいと思います。

【問合せ先】

全日本少年アイスホッケー大会実行委員会 事務局 Tel0154-31-1230